Panasonic

取扱説明書　工事説明付き

斜流ダクトファン

品番
FY-25DSF2 FY-28DSR2 FY-28DSM2 FY-35DSM2 FY-40DSL2
FY-40DTL2 FY-40DSH2 FY-40DTH2 FY-45DST2 FY-45DTT2
FY-45DSL2 FY-45DTL2 FY-45DTH2 FY-55DTL2 FY-55DTH2

消音斜流ダクトファン

品番
FY-25USF2 FY-28USR2 FY-28USM2 FY-35USM2 FY-40USL2
FY-40UTL2 FY-40USH2 FY-40UTH2 FY-45UST2 FY-45UTT2
FY-45USL2 FY-45UTL2 FY-45UTH2 FY-55UTL2 FY-55UTH2

斜流ダクトファン

この図はFY-40DSH2の場合です。
機種によって異なります。

消音斜流ダクトファン

この図はFY-40USH2の場合です。
機種によって異なります。

もくじ

安全上のご注意 …… 2〜4

各部の名前と寸法 …… 5〜7
（品番表示位置）

保守・点検 …… 8〜10

アフターサービス …… 11

仕様 …… 12〜13

工事説明 …… 14〜19

1. 取り付けの前に…… 14
2. 取り付け方法 …… 14
3. 電気結線…… 15〜17
4. 推奨別売品について… 18〜19

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2〜4ページ）を必ずお読みください。
- 取扱説明書は、大切に保管してください。
- この取扱説明書は最終需要家様まで確実にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

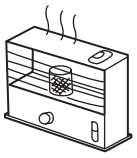
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 危険

開放型燃焼器具（暖房機）の給排気用として使用しない

禁止



部屋の中でガス、石油ストーブなどを使用するときは、別途専用の給排気設備を必ず使用してください。

⚠ 警告

点検･お手入れの際は、電源(ブレーカー)を切る

感電やけがをすることがあります。

堅固な基礎に固定し、強度不足の場合には補強する

取り付けが不十分な場合、予期せぬ事故の原因になります。

接続や組み付けのボルトなどはしっかりしめる

締め付けが不十分な場合、落下やはずれによりけがの原因になります。

部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

可燃性ガスが漏れたときは、窓を開けて換気する

ファンを運転すると、電気接点の火花により爆発火災の原因になることがあります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

⚠ 警告

使用を終了した製品は放置せずに撤去する（電源を切って吊り部の劣化を確認する）

落下により、けがをするおそれがあります。

外気取入口には防鳥網または同等のものを取り付ける

鳥巣などの異物がある時は取り除いてください。室内が酸欠の原因になることがあります。

外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置で使用する

室内が酸欠の原因になることがあります。

定められた人以外は、操作、点検をしない

禁止

予期せぬ事故の原因になります。

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れない

禁止

内部でファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

本体の吸込口・吹出口を開放して使用しない

禁止

運転時、人や物が吸い込まれけがの原因になります。また、予期せぬ事故の原因になりますので、必ず保護網を設けてください。

本体各部に直接水やお湯、かび取り剤などをかけない

禁止

ショートや感電のおそれがあります。

電源スイッチをぬれ手で切／入しない

ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

ガス漏れのときはファンのスイッチを入れたり切ったりしない

禁止

スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。

搬入、搬出に際しては、重心および重量に注意しておこなう

吊り上げ、持ち上げ、保持が不完全な場合は落下し、けがの原因になります。

⚠ 注意

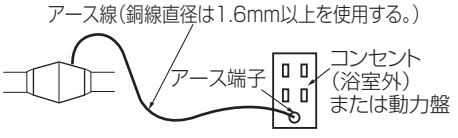
D種接地工事をおこなう

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。（異電圧仕様の機種の設置工事は、各電源電圧に応じた接地工事をおこなってください。）

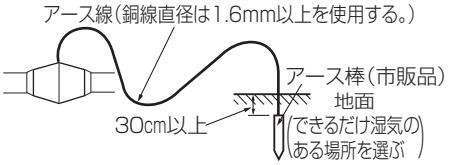
アース線接続

■アース工事は、次のいずれかの方法でおこなってください。他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。

●コンセントまたは動力盤のアース端子にアース線を接続する場合



●アース棒を使用する場合



■ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令で禁止されています。）

■設置場所の変更やご転居の際には、必ず再度アースの取り付けをおこなってください。

異常発生時（音、振動、臭い）は直ちに運転を停止し、修理を依頼する

予期せぬ事故の原因になります。

製品取扱い、点検時には、手袋やヘルメットなどの保護具を着用する

けがややけどなどの原因になります。

電気、配管、設備工事については、専門業者に依頼して実施する

工事に不備があると予期せぬ事故の原因になります。

電気工事は、電気設備技術基準および内線規程に従い電気工事士が施工する

配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。

本体をねじったり、ダクトなど過度の荷重が本体にかからないよう施工する

故障や落下して、けがの原因になります。

天吊りの場合、吊りボルトは規定の本数、ボルト径を使用する

足らない場合、落下しけがの原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 注意

ダクトは、結露防止のための断熱をおこなう

不完全な場合は、屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

定格の電圧を印加する

火災、感電事故の原因になります。

定格範囲内（温度、周波数、風量）で運転する

羽根車の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。

定められた環境範囲内で使用する（13ページ参照）

羽根車の破損やモーターの焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。

電源側結線は確実に接続する

不確実な接続をすると接続部が過熱し、火災のおそれがあります。

電源側結線は確実に固定する

揺れによる摩擦で被覆が破れた場合、感電や火災の原因となります。

結線は結線図を十分確認の上おこなう

モーター焼損などにより、予期せぬ事故の原因になります。

本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

吹出口に目をむけない（特に起動時）

禁止

ごみなどが飛んできて目に入ることがあります。

吹出口、吸込口付近に障害物を置かない

禁止

飛ばされたり、吸い込まれたりして、けがの原因になります。

酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有害ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所（機械、化学工場および研究施設など）には、本体および室内給気口を設置しない

禁止

ガスによる中毒や本体内部の腐食、劣化が発生し、火災の原因になることがあります。

羽根車にダストを付着させたままにしない

禁止

異常振動や羽根車破損の原因になります。

上下反対、または垂直には取り付けない

禁止

羽根車やモーター破損の原因になります。

改造、修理、分解を勝手にしない

禁止

予期せぬ事故の原因になります。

ダクト内の風によるファンの回転に注意する

電源が切れていても、回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

点検時などに、本体からはずした点検口のふたや部品を落とさないよう注意する

落下して、けがの原因になることがあります。

お手入れの際は、ホコリの落下と足場に注意する

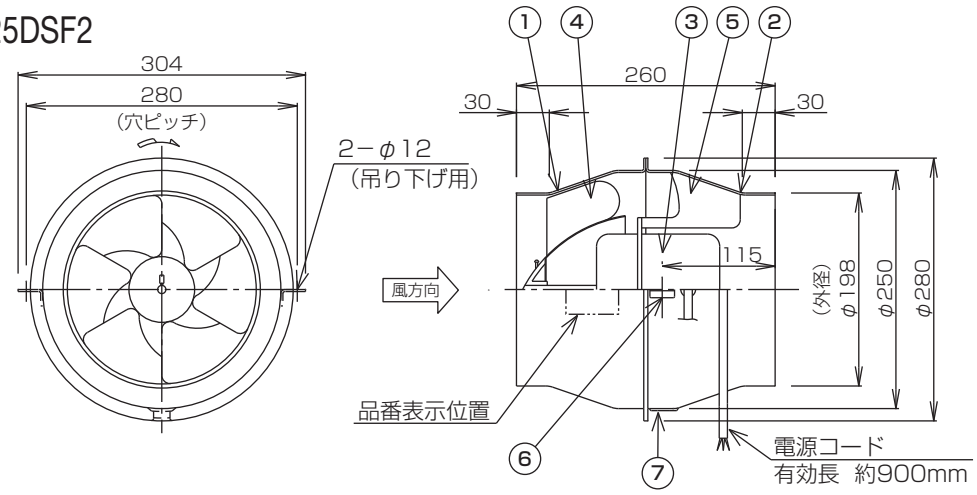
けがのおそれがあります。

各部の名前と寸法（品番表示位置）

（1）斜流ダクトファン

単位：mm

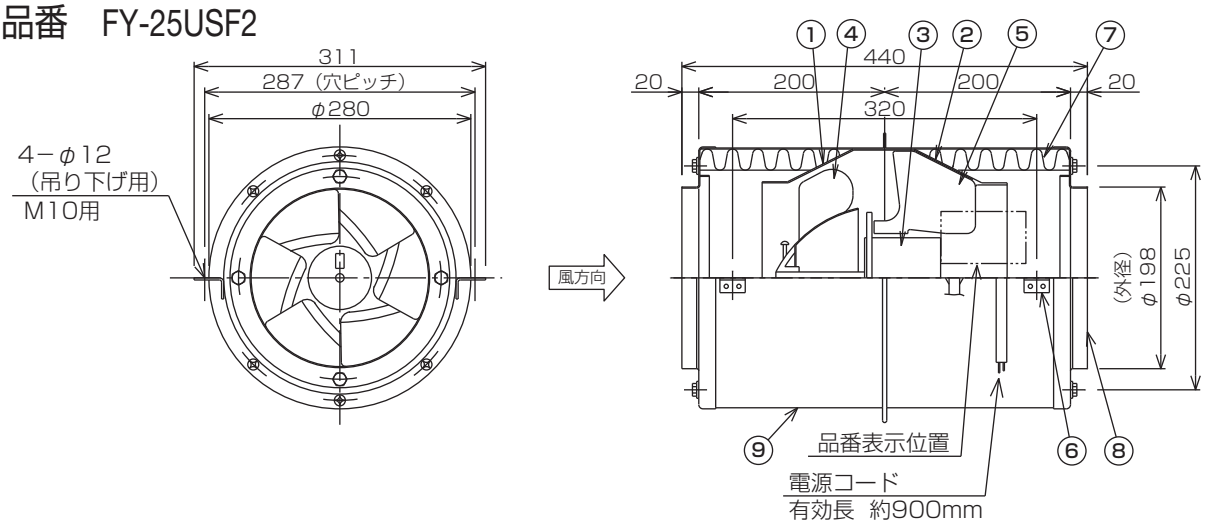
品番　FY-25DSF2



番号	部　品　名	数量	分　　類	材　　質
1	ケーシングA	1	鉄	鋼板
2	ケーシングB	1	鉄	鋼板
3	モーター	1	複合製品	—
4	羽根車	1	アルミニウム	アルミニウム
5	静翼	4	鉄	鋼板
6	吊り金具	2	鉄	鋼板
7	ゴム栓(ドレン)	1	ゴム	クロロプレンゴム

（2）消音斜流ダクトファン

品番　FY-25USF2



番号	部　品　名	数量	分　　類	材　　質
1	ケーシングA	1	鉄	鋼板
2	ケーシングB	1	鉄	鋼板
3	モーター	1	複合製品	—
4	羽根車	1	アルミニウム	アルミニウム
5	静翼	4	鉄	鋼板
6	吊り金具	4	鉄	鋼板
7	吸音材	2	グラスウール	—
8	取り付け用相フランジ	2	鉄	亜鉛めっき鋼板
9	消音筒	2	鉄	亜鉛めっき鋼板

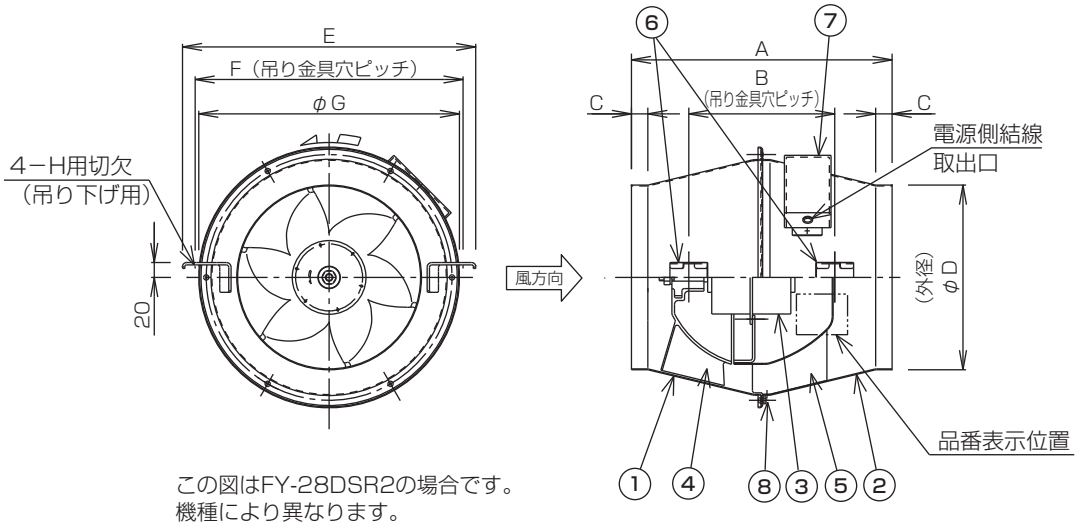
お願い

本品を廃棄の際は、上記の材質を目安にしてリサイクル推進に努めてください。

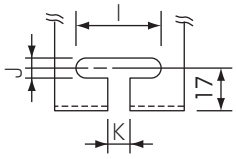
各部の名前と寸法（品番表示位置）

(3) 斜流ダクトファン

品番　FY-28DSR2　FY-28DSM2　FY-35DSM2　FY-40DSL2　FY-40DTL2　FY-40DSH2　FY-40DTH2
FY-45DST2　FY-45DTT2　FY-45DSL2　FY-45DTL2　FY-45DTH2　FY-55DTL2　FY-55DTH2



この図はFY-28DSR2の場合です。
機種により異なります。



吊り金具穴詳細図

単位：mm

品番	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
FY-28DSR2、FY-28DSM2	350	197	22	248	400	366	350	M8	32	9	9
FY-35DSM2	410	206	21.5	298	460	426	415	M8	32	9	9
FY-40DSL2、FY-40DTL2、FY-40DSH2、FY-40DTH2	480	206	26	347	525	491	480	M8	32	9	9
FY-45DST2、FY-45DTT2、FY-45DSL2、FY-45DTL2、FY-45DTH2	540	218	25.5	395	588	554	546	M10	34	11	11
FY-55DTL2、FY-55DTH2	680	217	25	445	673	639	631	M10	34	11	11

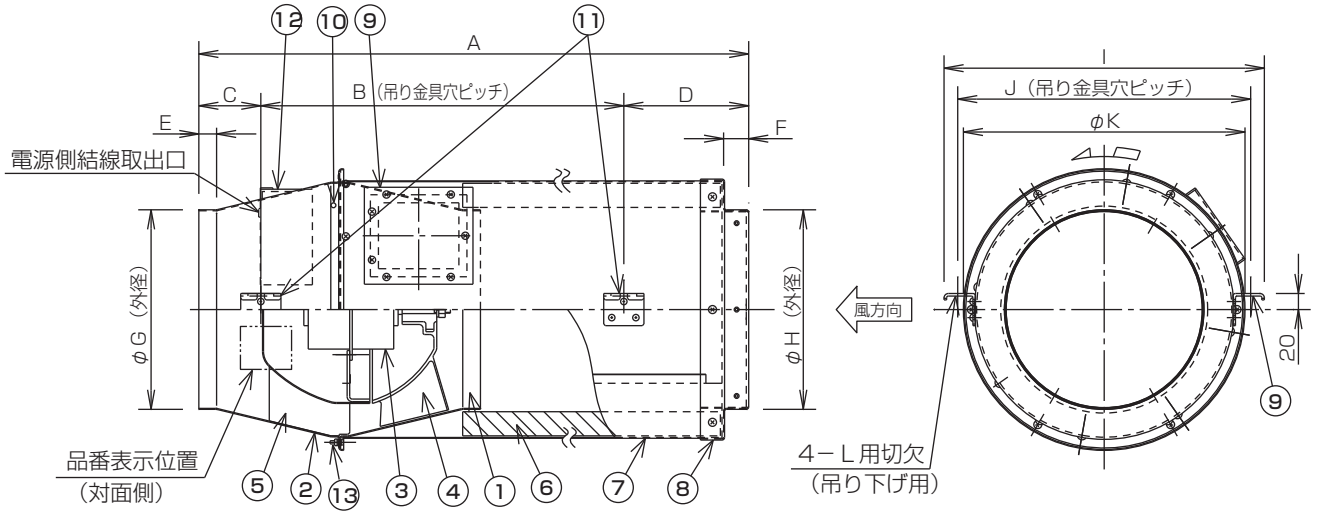
番号	部品名	数量	分類	材質
1	ケーシングA	1	鉄	鋼板
2	ケーシングB	1	鉄	鋼板
3	モーター	1	複合製品	—
4	羽根車	1	プラスチック、鉄、アルミニウム	ポリプロピレン、鋼板、アルミニウム
5	静翼	7	鉄	鋼板
6	吊り金具	4	鉄	鋼板
7	端子カバー	1	プラスチック	ポリプロピレン
8	ゴム栓(ドレン)	1	ゴム	クロロプレンゴム

お願い

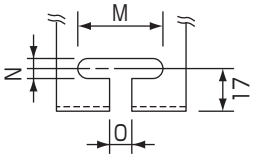
本品を廃棄の際は、上記の材質を目安にしてリサイクル推進に努めてください。

（4）消音斜流ダクトファン

品番　FY-28USR2　FY-28USM2　FY-35USM2　FY-40USL2　FY-40UTL2　FY-40USH2　FY-40UTH2
FY-45UST2　FY-45UTT2　FY-45USL2　FY-45UTL2　FY-45UTH2　FY-55UTL2　FY-55UTH2



この図はFY-28USR2の場合です。
機種により異なります。



吊り金具穴詳細図

単位：mm

品　番	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
FY-28USR2、FY-28USM2	882	600	77	205	22	30	248	249	400	366	350	M8	32	9	9
FY-35USM2	948	606	102	240	21.5	30	298	299	460	426	415	M8	32	9	9
FY-40USL2、FY-40USH2、FY-40UTL2、FY-40UTH2	1049	571	137	341	26	30	347	347	525	491	480	M8	32	9	9
FY-45UST2、FY-45UTT2、FY-45USL2、FY-45UTL2、FY-45UTH2	1085	494	161	430	25.5	30	395	396	588	554	546	M10	34	11	11
FY-55UTL2、FY-55UTH2	1232	413	231	588	25	30	445	447	673	639	631	M10	34	11	11

番号	部　品　名	数量	分　類	材　質
1	ケーシングA	1	鉄	鋼板
2	ケーシングB	1	鉄	鋼板
3	モーター	1	複合製品	—
4	羽根車	1	プラスチック、鉄、アルミニウム	ポリプロピレン、鋼板、アルミニウム
5	静翼	7	鉄	鋼板
6	吸音材	1	ロックウール	—
7	消音筒	1	鉄	亜鉛めっき鋼板
8	サイドパネル組	1	鉄	亜鉛めっき鋼板
9	カバー	1	プラスチック	ポリカーボネート
10	消音筒固定ねじ	一式	鉄	—
11	吊り金具	4	鉄	鋼板
12	端子カバー	1	プラスチック	ポリプロピレン
13	ゴム栓（ドレン）	1	ゴム	クロロプレンゴム

お願い

本品を廃棄の際は、上記の材質を目安にしてリサイクル推進に努めてください。

保守・点検

長期間安全にご使用いただく為に下記の事を守ってください。

1. 定期点検はお買い上げの販売店または工事店へご相談し依頼してください。
   相談先がなくお困りの場合は「パナソニック修理ご相談窓口」（11ページ）へご連絡ください。
2. モーターの推定寿命時間は約2万時間ですが、使用状況によりモーターの寿命は異なりますので異常音などが確認されましたら、モーター交換をおこなってください。

ご注意

定期点検を行うことによって、運転の効率が維持され無駄なエネルギー消費がなくなるのみならず機器の寿命を長くすることができます。
（点検周期は使用条件がきびしい場合、下表より短くしてください）

■ 日常点検（お客様へ）

1. 初期状態と比べ著しい騒音・振動の発生がないか、運転状態の確認をしてください。（聴覚・触感など）
2. ゴム栓（ドレン）を取り外して製品内に水が溜まっていないか確認をしてください。
   万一、水が溜まっている場合、水を全て排出し製品内の清掃を専門業者様へご依頼ください。
   また、製品内に水が浸入しないよう対策を実施お願いします。
   点検後、ゴム栓（ドレン）は必ず取付けてください。
   （FY-25USF2にはゴム栓（ドレン）がありません。製品内はダクトを外して確認してください。）

■ 定期点検（サービス会社様へ）

下表を参考に点検をおこなってください。

記号の説明
○：定期点検
◆：定期交換部品の取替え

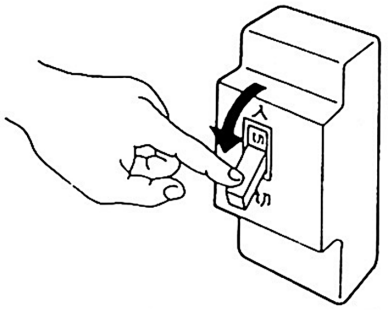
部品名	経過年数 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	点検内容	判定基準（目安）	保全内容	備考
1 送風機全体	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	機器更新	・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・著しい騒音、振動の発生なきこと	・基礎ボルト、吊りボルトの増し締め ・補修困難な場合は製品交換	
																・取り付けねじ類のゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め	
2 ケーシング静翼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	（FY-25USF2にはゴム栓（ドレン）なし）
																・機内水溜りの確認（ゴム栓（ドレン）はずし）	・水溜りが無いこと	・水を全て排出し機内清掃	
																・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・異常音、異常振動のなきこと ・羽根車との接触なきこと	・各取り付けねじ部の増し締め ・接触による損傷がある場合は部品交換	
3 羽根車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	
																・回転状態の確認（目視、手回し）	・異常音のなきこと ・ファンケーシングとの接触なきこと	・接触による損傷がある場合は部品交換	
																・羽根車止めねじのゆるみ確認（工具による）	・ゆるみなきこと	・工具による増し締め	
4 モーター	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	◆	○	○	・外観の確認（目視点検）	・著しい発錆、腐食、付着物、変形のなきこと	・付着物の清掃除去 ・塗装の剥がれ部はタッチアップ補修 ・著しい発錆、腐食、変形、傷などのある場合は部品交換	定期交換部品
																・騒音、振動の確認（聴覚・触感など）	・異常音、異常振動のなきこと	・異常時は部品交換	
5 吸音材	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・外観の確認（目視点検）	・ガラスクロスの剥がれ、破れ、付着物のなきこと	・異常時は部品交換	
																・外れ、剥がれの確認（目視点検）	・外れ、剥がれなきこと	・再度取り付け固定 ・異常時は部品交換	
6 コネクタ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		・ゆるみ確認（電源との接続部のはずれの確認）	・ゆるみなきこと	・コネクタの差し込み	

備考　上表は一般的な目安を示し、使用状況、設置条件等により変化することがあります。
運転時間の目安は、1日10時間、年間300日、3000時間としています。

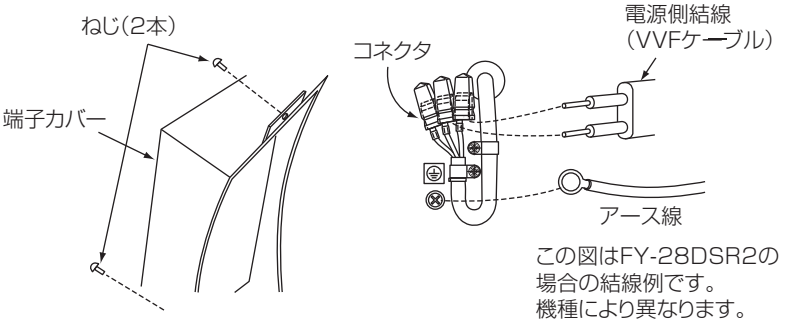
■ 分解要領

モーター交換など、分解が必要な場合には、次の手順に従って分解をしてください。
（安全上、必ず、手袋をご使用ください。）

1.まず、電源（ブレーカー）を切ってください。



2.電源側結線をはずしてください。



この図はFY-28DSR2の場合の結線例です。
機種により異なります。

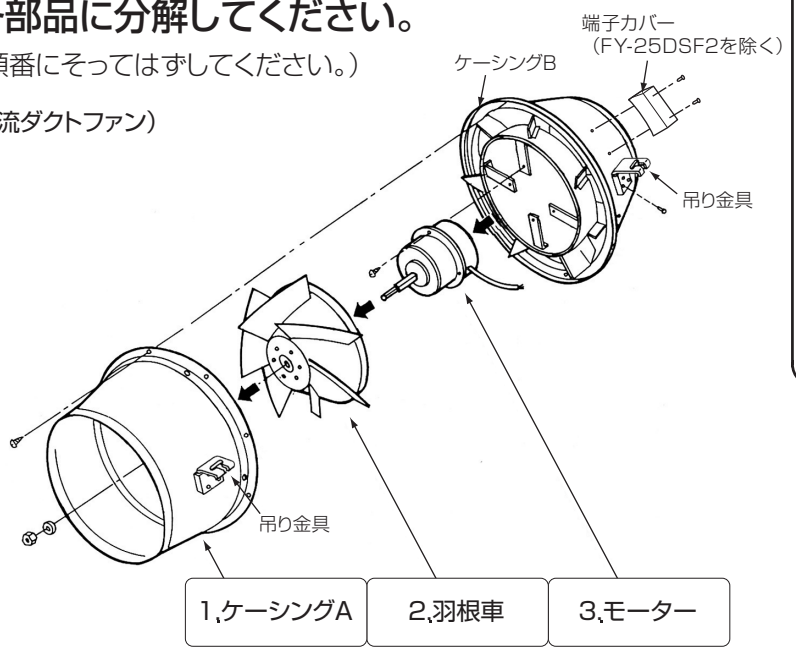
① 端子カバーのねじ(2本)をはずし、
端子カバーをはずす。
② コネクタから電源側結線（VVFケーブル），アース線をはずす。
※FY-25DSF2, FY-25USF2は端子カバーがありません。

※電線を取りはずす場合は、左右に回しながら、まっすぐにていねいに引き抜いてください。
※コネクタを再度使用される場合にはコネクタ内部に破損がないことを確認してください。
※電線を再結線する場合は、必ず電線の古い部分を切断し、再度被覆を剥ぎ取り、新しい部分を使用してください。

3.各部品に分解してください。

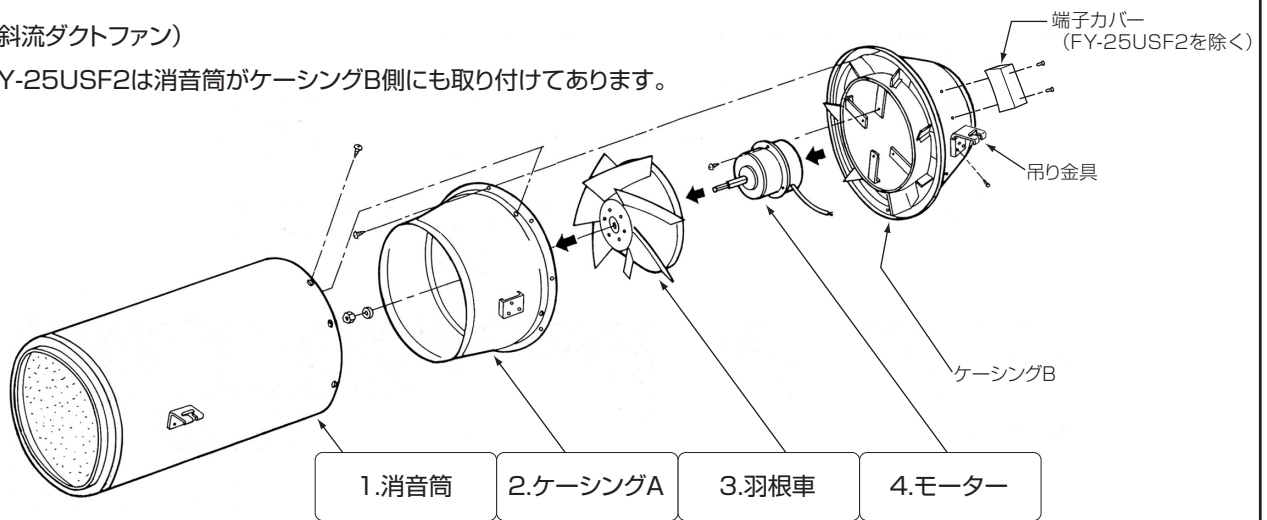
（順番にそってはずしてください。）

（斜流ダクトファン）



（消音斜流ダクトファン）

※FY-25USF2は消音筒がケーシングB側にも取り付けてあります。



保守・点検（続き）

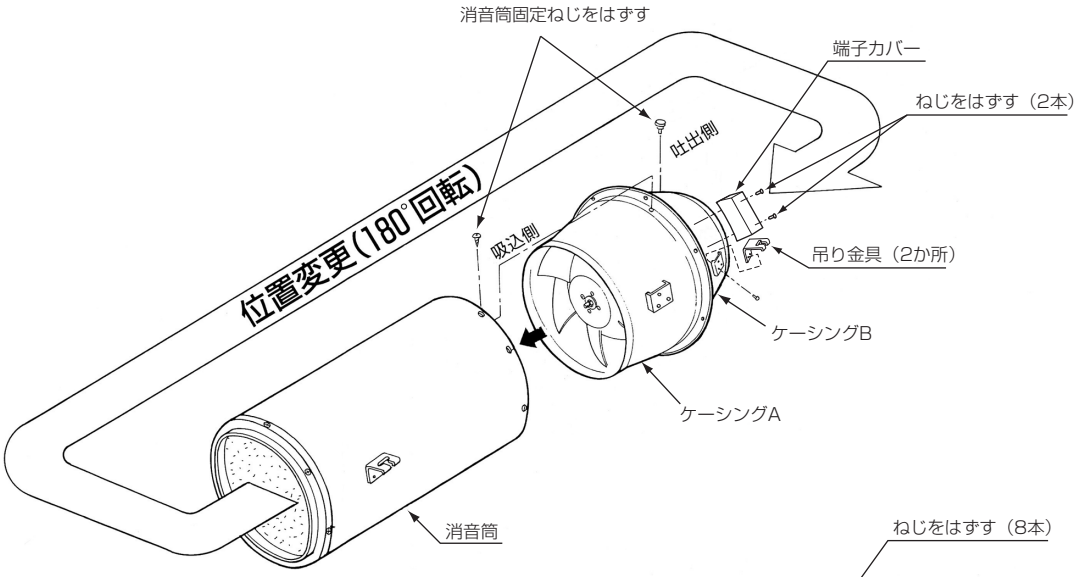
4.（消音斜流ダクトファン）

適用機種 FY-28USR2　FY-28USM2　FY-35USM2　FY-40USL2　FY-40UTL2　FY-40USH2　FY-40UTH2
FY-45UST2　FY-45UTT2　FY-45USL2　FY-45UTL2　FY-45UTH2　FY-55UTL2　FY-55UTH2

消音筒の位置変更（吸込側→吐出側）

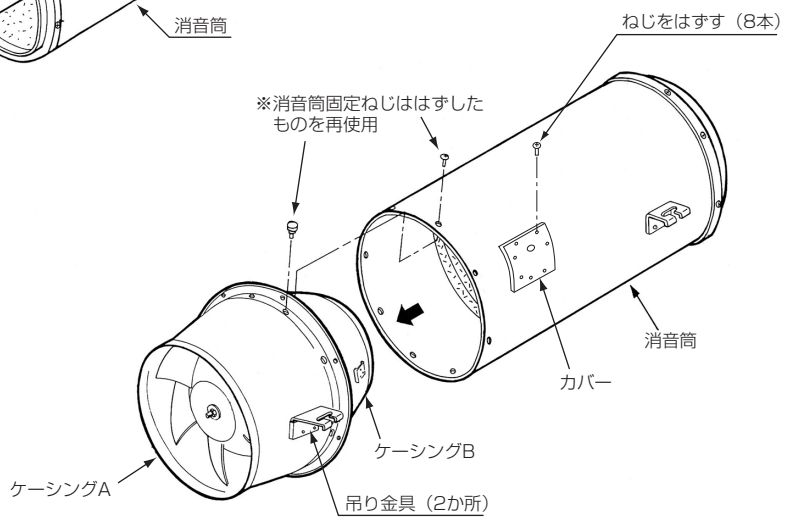
吐出側の騒音を下げたい時におこなってください。
順番にそってはずしてください。

① 端子カバーをはずす
② ケーシングBの吊り金具（2か所）をはずす
③ 消音筒固定ねじをはずしケーシングAから消音筒をはずす
④ ケーシングBの消音筒固定ねじ（斜流ファン本体側）をはずす



※消音筒固定ねじ数量

品番		数量
FY-28USR2 FY-28USM2 FY-35USM2 FY-40USL2	FY-40UTL2 FY-40USH2 FY-40UTH2	8
FY-45UST2 FY-45UTT2 FY-45USL2 FY-45UTL2	FY-45UTH2 FY-55UTL2 FY-55UTH2	12



順番にそって組み立ててください。

⑤ 消音筒をケーシングBへ取り付ける
⑥ ②ではずした吊金具（2か所）をケーシングAに取り付ける
⑦ 消音筒のカバーをはずし配線する
⑧ カバーを消音筒へ取り付ける
※①ではずした端子カバーは使用しません

アフターサービス よくお読みください

お取り扱い・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店または工事店へご相談ください。

■保証

保証期間は納入の日から1年といたします。保証期間中正常な使用にもかかわらず、当社の設計、加工等の不備により故障または異常が発生した場合は、故障または異常の部位を無償で修理致します。ただし客先での改造、仕様変更、取付不備、保管中の破損、故障または異常に起因する各種損害などについてはその責を負いません。
なお、一般換気用・ビル空調用に設計しております。使用状況および用途が異なる場合は保証できない場合がありますのでご注意ください。

下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。
1.換気用途以外で使用した場合の不具合
2.お客様が適切な使用、維持管理を行なわなかったことに起因する不具合
3.当社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4.建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の不具合
5.海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6.ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7.火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8.消耗部品の消耗に起因する不具合
9.指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

修理を依頼されるときは

故障と思われましたら下表に従って点検し、なお異常のあるときは、必ず電源を切ってお買い上げ日と下記項目を確認のうえご連絡ください。
1.製品名
2.品番・製造番号（銘板に記載）
3.風量・静圧・運転電流値
4.使用状態（設置状況、使用期間、1日あたりの運転時間など）
5.異常状態（いつごろからか、またどんなときに発生するのか）
6.取扱気体（一般換気用か、清浄空気か、また用途は）

●診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます
※修理料金は、次の内容で構成されています。
技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
部品代 部品および補助材料代
出張料 技術者を派遣する費用

原因＼症状	風量不足	騒音過大	振動過大	モーター過熱	運転しない	対策
基礎が弱い	○	○	○			基礎補修
据付け不良	○	○	○			据付調整
定格と異なった電圧による運転	○	○	○	○	○	電源確認
回転体と静止部の接触	○	○	○	○	○	点検・調整
異物混入、塵埃付着	○	○	○	○	○	点検・清掃
ダクト工事不良	○	○	○			点検・調整
誤結線	○	○		○	○	結線変更

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 0120-878-554 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

仕様

1. 特性表

機種	品番	電源（相・V）	極数	公称出力（W）	周波数（Hz）	速調	最大風量（m³/h）	電流（A）	最大電流（A）	消費電力（W）	騒音 側面（dB）	騒音 吸込（dB）	騒音 吐出（dB）	質量（kg）
斜流ダクトファン	FY-25DSF2	単相100V	4	25	50	強	600	0.45	0.47	32	43	51	51	4.7
						弱	580	0.25	0.28	20	41	50	51	
					60	強	710	0.42	0.48	38	46	56	54	
						弱	635	0.31	0.37	28	43	53	53	
	FY-28DSR2	単相100V	6	10	50	強	740	0.21	0.22	21	38	43	44	8.3
						弱	675	0.18	0.19	17	35	41	42	
					60	強	795	0.26	0.26	26	40	45	47	
						弱	710	0.22	0.22	21	37	42	45	
	FY-28DSM2	単相100V	4	20	50	強	1,140	0.47	0.56	47	48	54	50	8.5
						弱	1,040	0.45	0.52	45	46	52	47	
					60	強	1,160	0.64	0.69	64	47	54	50	
						弱	920	0.56	0.58	56	41	47	43	
	FY-35DSM2	単相100V	4	60	50	強	2,150	1.2	1.4	120	50	61	59	12
						弱	1,890	0.9	1.1	90	48	59	55	
					60	強	2,290	1.6	1.8	160	51	63	60	
						弱	1,830	1.1	1.1	110	47	58	55	
	FY-40DSL2	単相100V	4	200	50	強	3,340	2.1	2.9	210	53	65	63	20
						弱	3,040	1.9	2.5	180	50	61	58	
					60	強	3,740	3.1	4.0	310	54	66	63	
						弱	3,020	2.6	3.0	240	47	58	54	
	FY-40DTL2	三相200V	4	200	50	強	3,340	0.8	1.0	200	54	65	63	18
						弱	3,220	0.7	0.9	190	53	65	63	
					60	強	3,730	1.0	1.3	300	56	67	65	
						弱	3,560	0.9	1.2	280	54	66	65	
	FY-40DSH2	単相100V	4	300	50	強	3,400	2.8	3.7	230	56	66	62	20
						弱	3,000	2.1	2.9	190	53	63	59	
					60	強	3,850	3.6	5.2	340	58	68	66	
						弱	2,800	3.0	3.4	260	52	61	58	
	FY-40DTH2	三相200V	4	300	50	強	3,420	0.9	1.1	213	54	66	64	19
						弱	3,310	0.8	1.0	195	53	66	64	
					60	強	3,920	1.1	1.5	317	56	68	67	
						弱	3,760	1.0	1.3	290	55	67	66	
	FY-45DST2	単相100V	4	550	50	強	5,150	7.5	8.3	530	61	67	66	38
						弱	5,090	5.4	6.4	440	60	67	66	
					60	強	6,130	7.6	9.7	700	65	71	71	
						弱	6,030	6.7	8.9	640	65	70	70	
	FY-45DTT2	三相200V	4	550	50	強	4,870	2.7	2.8	470	63	69	67	36
						弱	4,800	1.5	1.7	370	60	67	67	
					60	強	5,730	2.6	2.9	640	67	72	74	
						弱	5,470	1.9	2.2	540	67	71	70	
	FY-45DSL2	単相100V	4	700	50	強	5,490	7.1	8.4	510	62	69	68	39
						弱	5,340	5.4	7.0	440	61	69	68	
					60	強	6,460	8.0	10.7	730	65	73	73	
						弱	6,250	7.3	10.4	690	64	73	73	
	FY-45DTL2	三相200V	4	700	50	強	5,230	2.7	3.0	480	63	71	69	37
						弱	4,980	1.5	1.9	400	64	70	68	
					60	強	6,060	2.8	3.3	700	66	74	73	
						弱	5,700	2.0	2.5	580	66	74	72	
	FY-45DTH2	三相200V	4	900	50	強	5,190	2.7	3.0	520	63	72	72	36
						弱	5,080	1.6	2.0	440	63	71	71	
					60	強	6,140	2.8	3.5	760	68	76	76	
						弱	5,870	2.2	2.9	680	67	75	75	
	FY-55DTL2	三相200V	4	1,100	50	強	8,240	3.7	4.6	930	63	73	72	49
						弱	−	−	−	−	−	−	−	
					60	強	9,640	4.9	6.8	1,450	68	78	77	
						弱	−	−	−	−	−	−	−	
	FY-55DTH2	三相200V	4	1,500	50	強	8,320	5.3	5.8	1,150	66	75	73	49
						弱	−	−	−	−	−	−	−	
					60	強	9,970	6.4	7.3	1,810	70	79	77	
						弱	−	−	−	−	−	−	−	

注記）
1. 風量、電流、消費電力はチャンバー法により測定した0(Pa)静圧時の値です。
2. 騒音は0（Pa）静圧時の値で測定位置は以下に示す通りです。
   側面――本体側面1.5mでの騒音値
   吸込側――吸込側1.5mでの騒音値
   吐出側――吐出側斜め45° 1.5mでの騒音値（吸込側騒音含まず）
   なお、1mの位置での騒音値は上記数値に2dBを加えてください。
3. 上記仕様は、常温（20℃）での値です。

機種	品番	電源（相・V）	極数	公称出力（W）	周波数（Hz）	速調	最大風量（m³/h）	電流（A）	最大電流（A）	消費電力（W）	騒音 側面（dB）	騒音 吸込（dB）	騒音 吐出（dB）	質量（kg）
消音斜流ダクトファン	FY-25USF2	単相100V	4	25	50	強	600	0.45	0.47	32	43	48	44	8.5
						弱	580	0.25	0.28	20	40	46	42	
					60	強	710	0.42	0.48	38	45	52	48	
						弱	635	0.31	0.37	28	43	48	45	
	FY-28USR2	単相100V	6	10	50	強	740	0.21	0.22	21	29	32	44	16
						弱	675	0.18	0.19	17	26	29	42	
					60	強	795	0.26	0.26	26	32	33	47	
						弱	710	0.22	0.22	21	27	30	45	
	FY-28USM2	単相100V	4	20	50	強	1,140	0.47	0.56	47	40	43	50	16
						弱	1,040	0.45	0.52	45	38	41	47	
					60	強	1,160	0.64	0.69	64	40	44	50	
						弱	920	0.56	0.58	56	33	35	43	
	FY-35USM2	単相100V	4	60	50	強	2,150	1.2	1.4	120	46	50	59	23
						弱	1,890	0.9	1.1	90	41	46	55	
					60	強	2,290	1.6	1.8	160	48	51	60	
						弱	1,830	1.1	1.1	110	40	45	55	
	FY-40USL2	単相100V	4	200	50	強	3,340	2.1	2.9	210	48	56	63	33
						弱	3,040	1.9	2.5	180	46	52	58	
					60	強	3,740	3.1	4.0	310	50	58	63	
						弱	3,020	2.6	3.0	240	46	49	54	
	FY-40UTL2	三相200V	4	200	50	強	3,340	0.8	1.0	200	48	56	63	32
						弱	3,220	0.7	0.9	190	46	55	63	
					60	強	3,730	1.0	1.3	300	48	59	65	
						弱	3,560	0.9	1.2	280	47	57	65	
	FY-40USH2	単相100V	4	300	50	強	3,400	2.8	3.7	230	48	53	62	33
						弱	3,000	2.1	2.9	190	44	50	59	
					60	強	3,850	3.6	5.2	340	49	56	66	
						弱	2,800	3.0	3.4	260	44	48	58	
	FY-40UTH2	三相200V	4	300	50	強	3,420	0.9	1.1	213	49	57	64	32
						弱	3,310	0.8	1.0	195	49	57	64	
					60	強	3,920	1.1	1.5	317	51	60	67	
						弱	3,760	1.0	1.3	290	50	58	66	
	FY-45UST2	単相100V	4	550	50	強	5,150	7.5	8.3	530	50	58	66	56
						弱	5,090	5.4	6.4	440	49	57	66	
					60	強	6,130	7.6	9.7	700	54	62	71	
						弱	6,030	6.7	8.9	640	53	62	70	
	FY-45UTT2	三相200V	4	550	50	強	4,870	2.7	2.8	470	56	63	67	54
						弱	4,800	1.5	1.7	370	53	61	67	
					60	強	5,730	2.6	2.9	640	61	66	74	
						弱	5,470	1.9	2.2	540	60	64	70	
	FY-45USL2	単相100V	4	700	50	強	5,490	7.1	8.4	510	55	60	68	57
						弱	5,340	5.4	7.0	440	52	59	68	
					60	強	6,460	8.0	10.7	730	57	64	73	
						弱	6,250	7.3	10.4	690	57	64	73	
	FY-45UTL2	三相200V	4	700	50	強	5,230	2.7	3.0	480	60	64	69	55
						弱	4,980	1.5	1.9	400	55	61	68	
					60	強	6,060	2.8	3.3	700	64	67	73	
						弱	5,700	2.0	2.5	580	60	67	72	
	FY-45UTH2	三相200V	4	900	50	強	5,190	2.7	3.0	520	59	64	72	54
						弱	5,080	1.6	2.0	440	59	64	71	
					60	強	6,140	2.8	3.5	760	62	69	76	
						弱	5,870	2.2	2.9	680	60	67	75	
	FY-55UTL2	三相200V	4	1,100	50	強	8,240	3.7	4.6	930	60	65	72	74
						弱	−	−	−	−	−	−	−	
					60	強	9,640	4.9	6.8	1,450	63	70	77	
						弱	−	−	−	−	−	−	−	
	FY-55UTH2	三相200V	4	1,500	50	強	8,320	5.3	5.8	1,150	61	65	73	74
						弱	−	−	−	−	−	−	−	
					60	強	9,970	6.4	7.3	1,810	64	70	77	
						弱	−	−	−	−	−	−	−	

注記）　1. 風量、電流、消費電力はチャンバー法により測定した0(Pa)静圧時の値です。
2. 騒音は0（Pa）静圧時の値で測定位置は以下に示す通りです。
側面———本体側面1.5mでの騒音値
吸込側——吸込側1.5mでの騒音値
吐出側——吐出側斜め45° 1.5mでの騒音値（吸込側騒音含まず）
なお、1mの位置での騒音値は上記数値に2dBを加えてください。
3. 上記仕様は、常温（20℃）での値です。

2. 使用環境条件

●周囲・取扱空気共　−10℃〜+40℃・相対湿度85%以下
●屋外（雨のかかる場所）や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
●熱気、油煙、蒸気、湿気などの発生する場所やプール、温泉には使用できません。

工事説明

1.取り付けの前に

■ご確認ください。

●破損、変形はありませんか。
●ご注文通りの製品ですか。

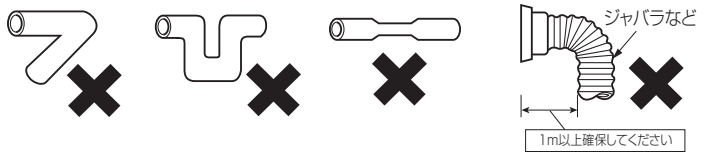
⚠注意

施工時・点検時には、手袋やヘルメットなどの保護具を着用してください。
けがややけどの原因になります。

お願い

●製品の電源をご確認のうえ、取り付け工事をおこなってください。
●吊りボルトおよび基礎ボルトは十分な強度のものをご使用ください。
●吸込側には、ほこり等が吸い込まれぬようフィルターをご使用することをおすすめします。(フィルター圧損による風量低下にはご注意ください。)
●煙突排気の燃焼器具を使用される部屋で排気する場合は、十分大きな吸気口を別に設けてください。(排気ガスが室内に逆流し一酸化炭素中毒を起こすことがあります。)
●屋外とのダクト接続は、屋外側に市販のパイプフードを取り付け、1/100以上の下り勾配をつけてください。(雨水が機内に入らないよう設置してください。)
●ダクト施工時は、商品本体に力が加わらないよう、ダクトを天井から吊るしてください。
●次のようなダクト工事はしないでください。

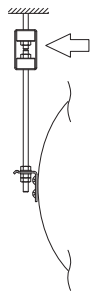
(1)極端な曲げ　(2)多数回の曲げ　(3)接続ダクト径を小さくする　(4)吹出口、吸込口のすぐそばでの曲げ



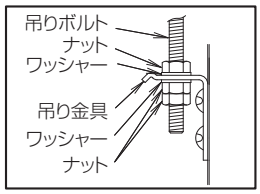
●本体とダクトを固定した後は、風漏れのないよう、市販のアルミテープでテーピングしてください。
●運転停止時、羽根車が高速で逆回転しないよう、外風他による過度な風が接続ダクト内を流れないようにしてください。羽根車の破損等の故障の原因となります。
必要に応じて電動ダンパーまたは逆流防止ダンパー(市販品)を設けてください。
●屋外(雨のかかる場所)や水のかかる場所、常時蒸気などが発生する場所、腐食ガスの発生するおそれのある場所、化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
●ダクト接続や電源接続の際、本体に穴をあけますと本体内部の電装部を破損するおそれがありますのでお避けください。
●熱気、油煙、蒸気、湿気などの発生する場所やプール、温泉排気には使用できません。(使用環境条件(周囲・取扱空気共):−10℃〜+40℃ 相対湿度85%以下)
●冬場冷気を室内に給気する場合など、接続ダクトおよび製品本体の外部に結露を生じるおそれがある時は、必ず断熱処理を施してください。
●給気ファン／排気ファンはショートサーキットしないように設置してください。
●本体は水平に取り付けてください。
上下反対、垂直据付はできません。

2.取り付け方法

防振用吊金具(別売品)がご使用できます。
推奨別売品について(18ページ)参照



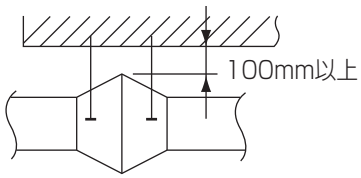
吊り下げは、ボルト、ナット(市販品)にて、堅固に取り付けてください。
推奨吊りボルト径
M8〜M10



ブレース等の振れ止めを設けてください。

本体は、水平に取り付けてください。

本体と天井のすき間は100mm以上確保してください。(端子カバーの取り付け・取り外しや結線作業のため)(右図)



端子カバー

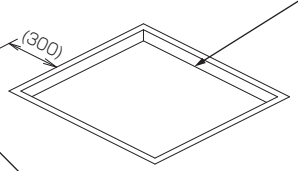
屋外側のダクトは、屋外に向けて、1/100以上の下り勾配をつけてください。

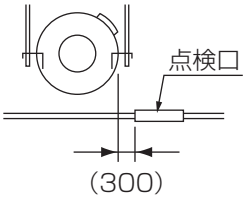
斜流ダクトファン

風向

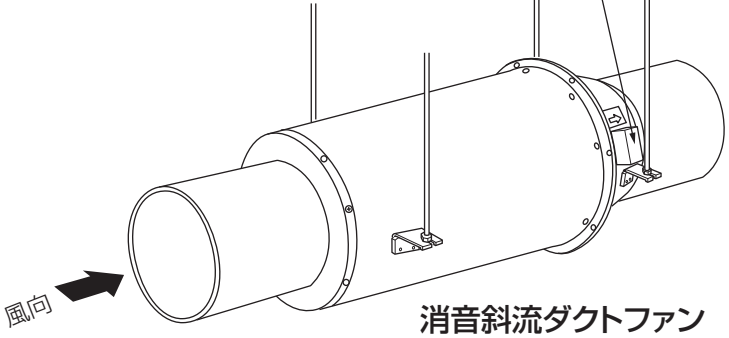
銘板で風向をご確認ください。

端子カバー側(25タイプは電源コード側)に45cm角以上の点検口を必ず設けてください。





端子カバー



消音斜流ダクトファン

ダクトは、テーピングまたはキャンバスにて、ケーシングに接続ください。

本体およびダクト外側に結露する可能性がある場合、必ず断熱処理を施してください。

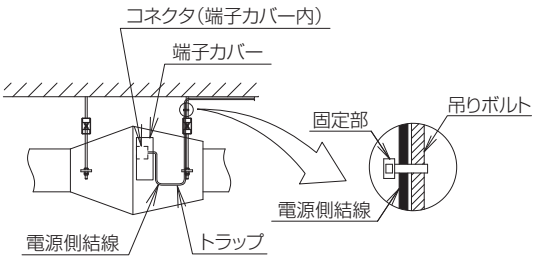
3. 電気結線

⚠注意	**配線工事は必ず電気設備技術基準や内線規程に従って** **有資格者（電気工事士）が安全・確実におこなってください。** 配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。

⚠注意	**D種接地工事をおこなってください。** 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

電気工事店様へ

- 過電流が流れたとき、モーター焼損防止のため、必ず機器1台毎に定格に合った過負荷保護装置（モーターブレーカーなどの保護機器）をお取り付けください。
  （モーターブレーカー等の選定にあたっては、（12ページ,13ページ）の「仕様」に記載の最大電流の1.2～1.5倍を目安にしてください。
- 漏電ブレーカーを必ず設置してください。
- 「結線図例」の破線部を結線願います。
- 端子カバーまたはカバーを開けて、電源側結線を端子カバー内のコネクタに結線してください。電源側結線接続方法1·2（17ページ）参照
  その際、電源側結線はコネクタに張力の加わらないように吊りボルト等に固定してください。（FY-25DSF2, FY-25USF2は端子カバーはありません）
- 電源側結線を伝わって、コネクタに水が浸入するおそれがあるため、電源側結線にトラップを設けるなどの処理をしてください。（右図参照）



- 結線後、必ず端子カバーまたはカバーを取り付けてください。
- 本商品のモーター内部にはモーター保護用の温度ヒューズが装着されています。定格と異なった電圧による運転、誤結線での運転等の異常使用でモーター巻線の温度が上昇しつづけた場合に温度ヒューズが作動し、ファンを停止させます。一旦温度ヒューズが作動すると、モーターは復帰しません（回りません）。異常の原因を調査し、正常の使用状態にてモーターの交換をしてください。
- 試運転時の不安定（仮設など）電源の影響で、温度ヒューズが切れモーターが回らなくなることがありますので、十分ご注意ください。
- 「入」·「切」運転および「強」·「弱」切換運転する場合は、送風機用スイッチ·送風機用速調スイッチ（送風機用制御部材）が必要です。結線および使用方法は送風機用スイッチ·送風機用速調スイッチに付属の取扱説明書を参照してください。
- インバータ運転をおこなう場合は、当社送風機用インバータのご使用をおすすめします。異常な振動、共振、騒音等が発生しないよう、現場施工状態に応じてインバータ側の設定をお願いします。異電圧仕様の機種の場合等、市販品のインバータを使用する際も同じくインバータ側の設定をお願いします。（各インバータの設定については、インバータの取扱説明書をご参照ください。）
- インバータで制御する際に、各商品ごとの定格周波数を上まわる設定では運転しないでください。
- インバータで制御する際は、必ず「強」運転の状態でご使用ください。

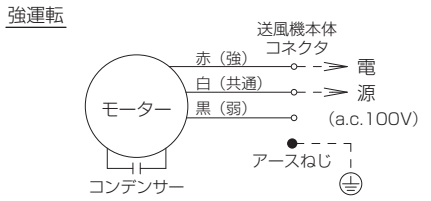
⚠注意	**結線は十分ご確認の上おこなってください。** 定格と異なった電圧による運転、結線図と違った配線による運転、三相と単相をまちがえた運転などをしますと、モーター焼損事故につながるおそれがあります。

工事説明（続き）

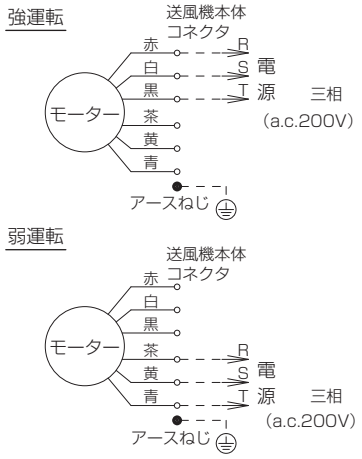
結線図例（破線 ----- は客先配線）

強または弱に固定して運転する場合（送風機用スイッチを使用しない場合）

単相機種の場合

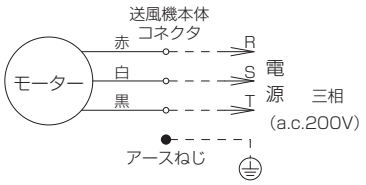


三相機種（速調付）の場合



三相機種（速調なし）の場合

（FY-55DTL2、FY-55DTH2
FY-55UTL2、FY-55UTH2）

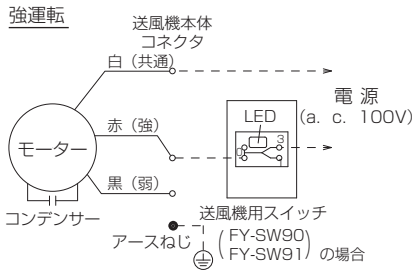


※製品の使用しない端子は開放状態のままにしてください。
（絶縁のため差込形コネクタに付属のキャップを奥までかぶせてください）

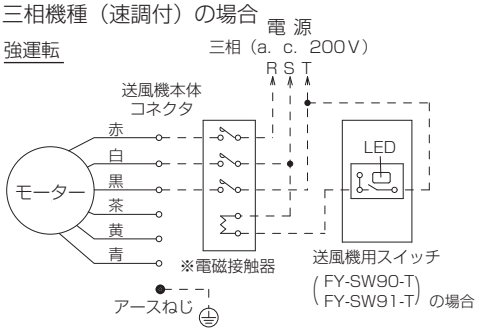
強または弱に固定して運転する場合（送風機用スイッチを使用する場合）

下記スイッチ以外を使用する場合、各スイッチの結線図を確認し指示に従ってください。

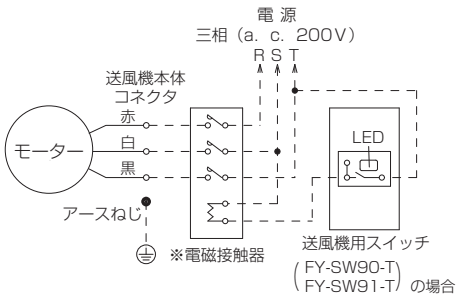
単相機種の場合



三相機種（速調付）の場合



三相機種（速調なし）の場合

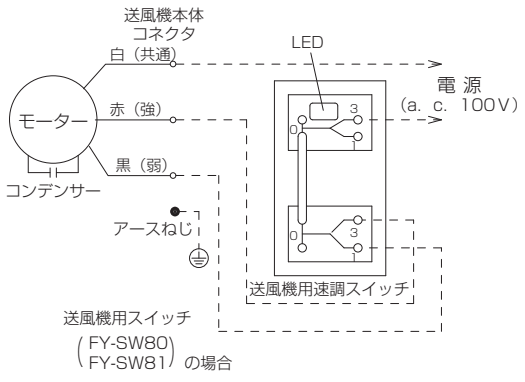


※電磁接触器の容量は機器本体の最大電流以上で選定願います。
（お客様手配です）
※製品の使用しない端子は開放状態のままにしてください。
（絶縁のため差込形コネクタに付属のキャップを奥までかぶせてください）

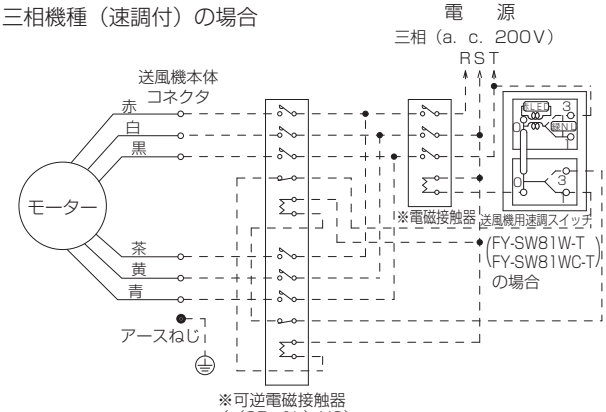
強一弱切換運転の場合（送風機用速調スイッチを使用する場合）

下記スイッチ以外を使用する場合、各スイッチの結線図を確認し指示に従ってください。

単相機種の場合



三相機種（速調付）の場合

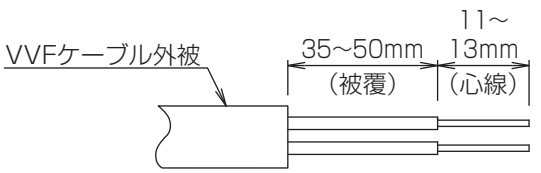


FY-25DSF2, FY-28DSR2, FY-28DSM2,
FY-25USF2, FY-28USR2, FY-28USM2は、
FY-SV11W又はFY-SV11WC（定格4A）をご使用ください。

※スイッチ1台で製品1台の運転になります。
※接続には別途電磁接触器が必要です。（お客様手配です）
電磁接触器の容量は機器本体の最大電流以上で選定願います。

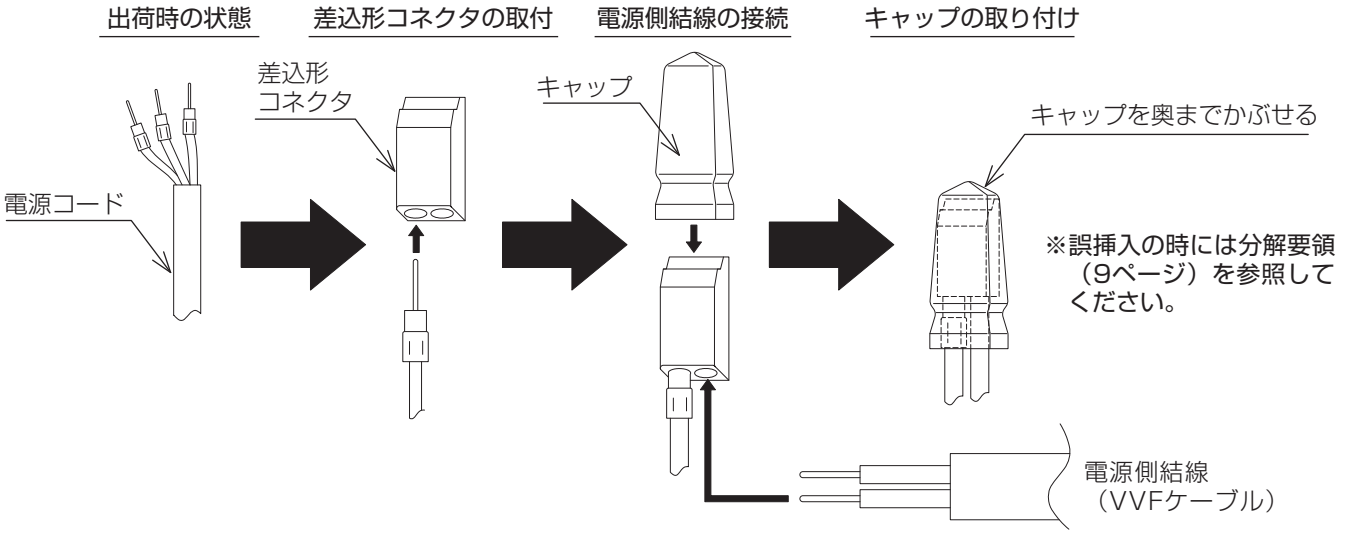
●電源側結線処理

電源側結線はVVFケーブルφ1.6またはφ2を使用してください。
細い心線の電源側結線を使用すると、発熱により発火のおそれがあります。



●電源側結線接続方法1（適用機種 FY-25DSF2, FY-25USF2）

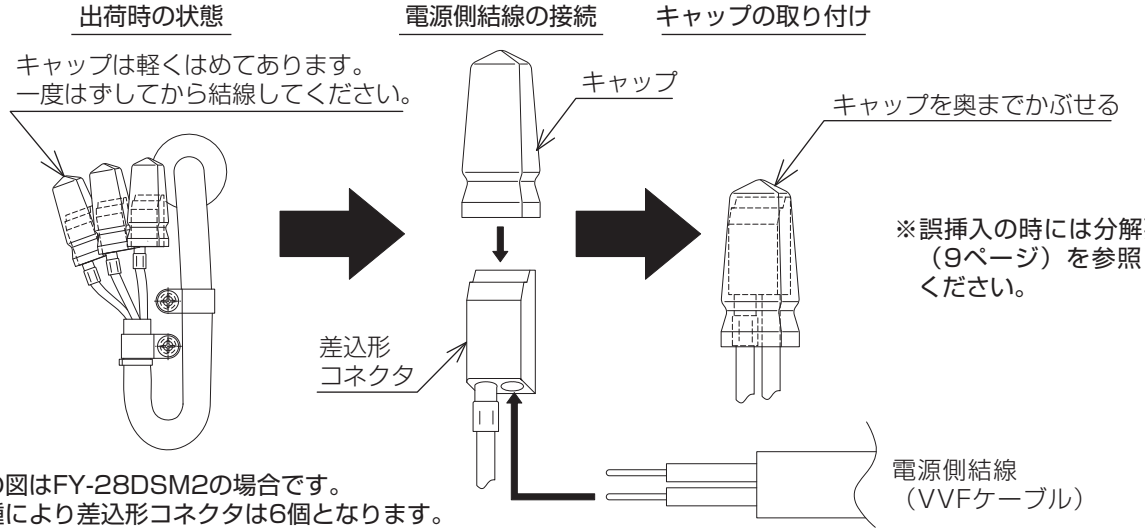
1. ジョイントボックス（市販品）の中で、電源側結線を付属の差込形コネクタを使い、結線図に従って結線してください。電源側結線は差込形コネクタへまっすぐに、突きあたるまで差し込み、挿入位置を目視で確認してください。
2. 差込形コネクタに、付属のキャップを奥までかぶせてください。
3. 使用しない差込形コネクタにも付属のキャップを奥までかぶせてください。



●電源側結線接続方法2

適用機種							
FY-28DSR2	FY-28DSM2	FY-35DSM2	FY-40DSL2	FY-40DTL2	FY-40DSH2	FY-40DTH2
FY-45DST2	FY-45DTT2	FY-45DSL2	FY-45DTL2	FY-45DTH2	FY-55DTL2	FY-55DTH2
FY-28USR2	FY-28USM2	FY-35USM2	FY-40USL2	FY-40UTL2	FY-40USH2	FY-40UTH2
FY-45UST2	FY-45UTT2	FY-45USL2	FY-45UTL2	FY-45UTH2	FY-55UTL2	FY-55UTH2

1. 端子カバーをはずし、電源側結線を差込形コネクタへ、結線図に従って結線してください。電源側結線は差込形コネクタへまっすぐに、突きあたるまで差し込み、挿入位置を目視で確認してください。
2. 差込形コネクタに、はずしたキャップを奥までかぶせてください。
3. 使用しない差込形コネクタにも付属のキャップを奥までかぶせてください。



この図はFY-28DSM2の場合です。
機種により差込形コネクタは6個となります。

工事説明（続き）

4.推奨別売品について

適用機種 品番		送風機用制御部材									
		送風機用スイッチ								送風機用コントロールユニット	
		速調無				速調有					
		金属製プレート	樹脂製プレート	ワイド21		金属製プレート	樹脂製プレート	ワイド21		速調無	速調有
				樹脂製プレート	樹脂製プレート（カバー付）			樹脂製プレート	樹脂製プレート（カバー付）		
斜流ダクトファン	FY-25DSF2	—	—	—	—	—	—	FY-SV11W	FY-SV11WC	—	—
	FY-28DSR2	—	—	—	—	—	—	FY-SV11W	FY-SV11WC	—	—
	FY-28DSM2										
	FY-35DSM2	FY-SW90	FY-SW91	FY-SW91W	FY-SW91WC	FY-SW80	FY-SW81	FY-SW81W	FY-SW81WC	—	—
	FY-40DSL2	FY-SW90	FY-SW91	FY-SW91W	FY-SW91WC	FY-SW80	FY-SW81	FY-SW81W	FY-SW81WC	—	—
	FY-40DSH2										
	FY-40DTL2	FY-SW90-T	FY-SW91-T	FY-SW91W-T	FY-SW91WC-T	FY-SW80-T	FY-SW81-T	FY-SW81W-T	FY-SW81WC-T	—	—
	FY-40DTH2										
	FY-45DST2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	FY-45DSL2										
	FY-45DTT2	FY-SW90-T	FY-SW91-T	FY-SW91W-T	FY-SW91WC-T	FY-SW80-T	FY-SW81-T	FY-SW81W-T	FY-SW81WC-T	—	—
	FY-45DTL2										
	FY-45DTH2										
	FY-55DTL2	FY-SW90-T	FY-SW91-T	FY-SW91W-T	FY-SW91WC-T	—	—	—	—	FY-SW96	—
	FY-55DTH2										
消音斜流ダクトファン	FY-25USF2	—	—	—	—	—	—	FY-SV11W	FY-SV11WC	—	—
	FY-28USR2	—	—	—	—	—	—	FY-SV11W	FY-SV11WC	—	—
	FY-28USM2										
	FY-35USM2	FY-SW90	FY-SW91	FY-SW91W	FY-SW91WC	FY-SW80	FY-SW81W	FY-SW81W	FY-SW81WC	—	—
	FY-40USL2	FY-SW90	FY-SW91	FY-SW91W	FY-SW91WC	FY-SW80	FY-SW81W	FY-SW81W	FY-SW81WC	—	—
	FY-40USH2										
	FY-40UTL2	FY-SW90-T	FY-SW91-T	FY-SW91W-T	FY-SW91WC-T	FY-SW80-T	FY-SW81W-T	FY-SW81W-T	FY-SW81WC-T	—	—
	FY-40UTH2										
	FY-45UST2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	FY-45USL2										
	FY-45UTT2	FY-SW90-T	FY-SW91-T	FY-SW91W-T	FY-SW91WC-T	FY-SW80-T	FY-SW81W-T	FY-SW81W-T	FY-SW81WC-T	—	—
	FY-45UTL2										
	FY-45UTH2										
	FY-55UTL2	FY-SW90-T	FY-SW91-T	FY-SW91W-T	FY-SW91WC-T	—	—	—	—	FY-SW96	—
	FY-55UTH2										

適用機種 品番		ファン用部材			送風機部材		
		送風機用インバータ	温度スイッチ		防振用吊金具	防振用スプリング	フランジセット
			露出形	埋込形			
斜流ダクトファン	FY-25DSF2	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03	FY-06BGH	FY-01BSH	—
	FY-28DSR2	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03	FY-06BGH	FY-02BSH	—
	FY-28DSM2						
	FY-35DSM2	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03	FY-06BGH	FY-02BSH	—
	FY-40DSL2	FY-S1N08S	FY-STS06	—	FY-06BGH	FY-02BSH	FY-MFL40
	FY-40DSH2	FY-S1N08S	FY-STS10				
	FY-40DTL2	FY-S1N04T	FY-STT10				
	FY-40DTH2						
	FY-45DST2	—	—	—	FY-06BGH	FY-02BSH	FY-MFL45
	FY-45DSL2						
	FY-45DTT2	FY-S1N08T	—				
	FY-45DTL2						
	FY-45DTH2	—	—				
	FY-55DTL2	—	—	—	FY-05BGH	FY-02BSH	FY-MFL55
	FY-55DTH2						
消音斜流ダクトファン	FY-25USF2	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03	FY-06BGH	FY-02BSH	—
	FY-28USR2	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03	FY-06BGH	FY-02BSH	—
	FY-28USM2						
	FY-35USM2	FY-S1N02S	FY-STS06	FY-STKS03	FY-06BGH	FY-02BSH	—
	FY-40USL2	FY-S1N08S	FY-STS06	—	FY-06BGH	FY-02BSH	FY-MFL40
	FY-40USH2	FY-S1N08S	FY-STS10				
	FY-40UTL2	FY-S1N04T	FY-STT10				
	FY-40UTH2						
	FY-45UST2	—	—	—	FY-05BGH	FY-02BSH	FY-MFL45
	FY-45USL2						
	FY-45UTT2	FY-S1N08T	FY-STT10				
	FY-45UTL2						
	FY-45UTH2	—	—				
	FY-55UTL2	—	—	—	FY-08BGH	FY-02BSH	FY-MFL55
	FY-55UTH2						

●三相用機種の送風機用スイッチを使用する場合は、別途電磁接触器が必要になります。
●各種部材は他にも色々取り揃えています。カタログをご参照ください。
●予告なく部材品番を変更することがありますので、ご利用の際は別途品番をご確認ください。

適用機種 品番		システム部材				
		パイプフード				消音ダクト
		丸形		深形		
		アルミ製	ステンレス製	アルミ製	ステンレス製	
斜流ダクトファン	FY-25DSF2	FY-MCA081	FY-MCX081	FY-MFA083	FY-MFX083	FY-PS082
	FY-28DSR2	VB-RG250A	VB-RG250S	—	—	—
	FY-28DSM2					
	FY-35DSM2	VB-RG300A	VB-RG300S	—	—	—
	FY-40DSL2	—	—	—	—	—
	FY-40DSH2					
	FY-40DTL2					
	FY-40DTH2					
	FY-45DST2	—	—	—	—	—
	FY-45DSL2					
	FY-45DTT2					
	FY-45DTL2					
	FY-45DTH2					
	FY-55DTL2	—	—	—	—	—
	FY-55DTH2					
消音斜流ダクトファン	FY-25USF2	FY-MCA081	FY-MCX081	FY-MFA083	FY-MFX083	FY-PS082
	FY-28USR2	VB-RG250A	VB-RG250S	—	—	—
	FY-28USM2					
	FY-35USM2	VB-RG300A	VB-RG300S	—	—	—
	FY-40USL2	—	—	—	—	—
	FY-40USH2					
	FY-40UTL2					
	FY-40UTH2					
	FY-45UST2	—	—	—	—	—
	FY-45USL2					
	FY-45UTT2					
	FY-45UTL2					
	FY-45UTH2					
	FY-55UTL2	—	—	—	—	—
	FY-55UTH2					

●三相用機種の送風機用スイッチを使用する場合は、別途電磁接触器が必要になります。
●各種部材は他にも色々取り揃えています。カタログをご参照ください。
●予告なく部材品番を変更することがありますので、ご利用の際は別途品番をご確認ください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「990#」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。

■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル
0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan **Tokyo** (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、
  各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、
回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

愛情点検　長年ご使用の斜流ダクトファンの点検を！

こんな症状はありませんか	・スイッチを入れても運転しない ・スイッチの動作が不確実 ・運転中にこげ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶ ご使用中止	このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Ecology Systems Co.,Ltd. 2011

Printed in Thailand
28DSM2921B
N0411-2012